

今月の



隣に伝えたい 新たな言葉と概念

【Geckler 分類】

英 Geckler classification

和 Geckler 分類

【用語解説】

呼吸器感染症では喀痰の培養検査は原因微生物同定のための大切な検査である。喀痰採取では口腔内常在菌の混入がさけられず、培養検査に適した材料であるかどうかの評価が必要である。その1つがGeckler分類である。

培養検査に適した喀痰とは、白血球が多数含まれ唾液成分の少ないものである。唾液には口腔内の扁平上皮細胞が含まれているので、グラム染色で観察し、白血球の数と扁平上皮細胞の数とで喀痰を6つの群に分類する(表)。100倍視野で白血球数>25、多く扁平上皮細胞<25のものが培養検査に適していると判断する。挿管中や気管切開を受けた患者の気管吸引物に対しても同様に使用できる。

グラム染色で原因微生物を推測する場合も、Geckler 分類の5群に分類される視野で観察することが望ましい。2014年のJAID(日本感染症学会/JSC(日本化学療法学会)感染症ガイドラインの院内肺炎の項ではグラム染色の活用が推奨されている。治療前に原因微生物を推測でき臨床症状とあわせてより適切な抗菌剤の選択が可能である。また翌日にもグラム染色を行い、白血球数、菌量を評価することで選択した抗菌剤が効果的であるかどうかとも推量できる。

このようにグラム染色を行い、Geckler 分類に基づき適切な材料を用いて経時的に白血球数、菌数を観察し、臨床症状、培養結果とを総合的に考慮することで、観察した菌が原因微生物であるのか、定着菌であるのかの判断も可能となり、より狭いスペクトラムの抗菌剤での治療が可能になると思われる。

表 Geckler 分類 100倍視野での観察

群	白血球	扁平上皮細胞
1	<10	>25
2	10-25	>25
3	>25	>25
4	>25	10-25
5	>25	<10
6	<25	<25

4,5群に分類される材料が培養検査に適しているとされる。

(国立病院機構宇多野病院 小児科 白石一浩)

本誌106pに記載